

# MGX 8220: アップグレードおよびダウングレードテクニック

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[手順](#)

[プロシージャ 1: 2.y へのバージョン 2.x の 1 つの ASCカード セットのためのぶざまなアップグレード; 2.x への 3.y; 3.x から 3.y へ](#)

[プロシージャ 2: 2.x へのバージョン 2.y の 1 つの ASCカード セットのためのダウングレード; 3.y への 2.x; 3.y から 3.x へ](#)

[プロシージャ 3: 2.y へのバージョン 2.x の 2 ASCカード セットのためのぶざまなアップグレード; 2.x への 3.y; 3.x から 3.y へ](#)

[プロシージャ 4: 2.x へのバージョン 2.y の 2 ASCカード セットのためのダウングレード; 3.y への 2.x; 3.y から 3.x へ](#)

[プロシージャ 5: 4.y へのバージョン 2.x の 1 つの ASCカード セットのためのぶざまなアップグレード; 3.x から 4.y へ](#)

[プロシージャ 6: 2.x へのバージョン 4.y の 1 つの ASCカード セットのためのダウングレード; 4.y から 3.x へ](#)

[プロシージャ 7: 2.x へのバージョン 4.y の 2 ASCカード セットのためのダウングレード; 4.y から 3.x へ](#)

[プロシージャ 8: 4.y へのバージョン 4.x の 1 つの ASCカード セットのためのぶざまなアップグレード; 4.x への 5.y; 5.x から 5.y へ](#)

[プロシージャ 9: 4.x へのバージョン 4.y の 1 つの ASCカード セットのためのダウングレード; 5.x への 4.x; 5.y から 5.x へ](#)

[プロシージャ 10: 2.y へのバージョン 2.x の 2 ASCカード セットのための適切なアップグレード; 3.x から 3.y へ](#)

[プロシージャ 11: 4.y へのバージョン 2.x の 2 ASCカード セットのための適切なアップグレード; 3.x から 4.y へ](#)

[プロシージャ 12: 4.y へのバージョン 4.x の 2 ASCカード セットのための適切なアップグレード; 4.x への 5.x; 5.x から 5.y へ](#)

[プロシージャ 13: 4.x へのバージョン 4.y の 2 ASCカード セットのためのダウングレード; 5.x への 4.x; 5.y から 5.x へ](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco MGX 8220 エッジ コンセントレータのブートコードとファームウェアのアップグレードおよびダウングレードを成功させるためのシスコの推奨プロセスについて

説明します。 AXIS は、Cisco MGX 8220 エッジ コンセントレータの従来の製品名です。

AXIS Shelf Controller ( ASC ) のためのこれらのアップグレード および ダウングレードテクニック ( [MGX 8220 アップグレード](#) [におよびダウングレードマトリックス](#)、[概念および定義](#) 説明がある ) および Service Module ( SM ) は提供されます:

- [運用状態でのアップグレード](#)
- [中断を伴うアップグレード](#)
- [ダウングレード](#)

その他の情報に関しては[概念および定義](#)を参照して下さい。

ファームウェア リリース ノートの詳細な情報を見る [登録ユーザ](#) である必要があります。

正常なファームウェアアップグレードを行なうのに援助としてこの資料を使用して下さい。 この資料は Cisco 販売エンジニア、システムエンジニア、またはアカウントマネージャとの適切な計画のための代替ではないです。

注: ファームウェアのバージョン 2.1.16 または 2.1.18 から 4.0.03 MGX 8220 アップグレードのための [4.0.03 へ MGX 8220 ファームウェア 2.1.18/16 をアップグレードすることを参照](#)して下さい。

**警告:** この資料の手順の使用は MGX 8220 エッジ コンセントレータの実際上の知識を仮定します。 ファームウェアアップグレードを続行する前に両方の文書を完全に読んで下さい。

## [前提条件](#)

### [要件](#)

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- MGX 8220 エッジ コンセントレータ

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

ファームウェアのバージョン 5.0.x への MGX 8220 アップグレードはバージョンのためにだけサポートされます:

- 4.0.x
- 4.1.x
- 5.0.x

バージョン 2.x または 3.x からのアップグレードのための 4.0.x または 4.1.x の最新の一般に利用可能なファームウェアのバージョンへの最初アップグレード デバイス。 それからバージョン 5.0.x へのアップグレード。 特別な配慮はアップグレードすると適用します:

1. バージョン 2.x および 3.x から
2. バージョン 4.0.x および 4.1.x からのバージョン 5.0.x への Inverse Multiplexing for ATM ( IMATM ) トランクモジュールおよび ATM User-Network Interface ( UNI ) SM ( AUSM )

## 8 ポート SM

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 手順

### プロシージャ 1: 2.y へのバージョン 2.x の 1 つの ASC カード セットのためのさまざまなアップグレード; 2.x への 3.y; 3.x から 3.y へ

このプロシージャはファームウェアのバージョンに適用されます:

- 2.x への 2.y
- 2.x への 3.y
- 3.x から 3.y へ

1. [現在の ASC 構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
2. 各々のプライマリおよびスタンダアロン SM のための [電流 SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
3. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにこのコマンドを再度発行して下さい。
4. すべてのプライマリおよびスタンダアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの前に行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が保たれたことを確立するために同じ設定パラメータを後アップグレード検査しました。
5. Trivial File Transfer Protocol ( TFTP ) を行うために置かれた <ASC\_BT\_file> [AXIS\\_ASC\\_BACKUP.FW](#) コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に新しい ASC bootcode をダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた <ASC\_FW\_file> [AXIS\\_ASC\\_ACTIVE.FW](#) コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に新しい ASC ファームウェアをダウンロードします。
7. ASC ディスクに正常なダウンロードを確認するためにファームウェアのファイルサイズを比較して下さい。
8. 正しいファームウェア リビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
9. ブートコードファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc00000 でフラッシュ メモリ ファイル および 0xbfc40000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr](#) コマンドを発行して下さい。  
`shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc00000`  
`shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfc40000`

TFTP を行い、SM スロットの数によっ

て *slot#* を取り替えるために置かれた `<SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT` コマンドを発行して下さい。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#) を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#) を発行して下さい。

- ファームウェアファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc40000 でフラッシュメモリ ファイル および 0xbf000000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr コマンド](#) を発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc40000  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbf000000
```

TFTP を行い、SM スロットの数によって *slot#* を取り替えるために置かれた `<SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW` コマンドを発行して下さい。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#) を発行して下さい。
- シェルフのすべてのカードをリセットする [resetsys コマンド](#) を発行して下さい。
- 接続の数が変更されなかったようにする [dspadrxlat コマンド](#) を発行して下さい。
- すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#) を発行して下さい。このステップはアップグレードの後で行数、ポートおよびチャンネルを検査します。ダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。コマンドはまた設定が変わらないかどうか確かめるのを助けることができます。
- ASC および SM コンフィギュレーションを必要ならば復元する。

## プロシージャ 2: 2.x にバージョン 2.y の 1 つの ASC カード セットのためにダウングレード; 3.y への 2.x; 3.y から 3.x へ

このプロシージャはファームウェアのバージョンに適用されます:

- 2.y への 2.x
- 3.y への 2.x
- 3.y から 3.x へ

- [互換性をチェックして下さい](#)。
- [現在の ASC 構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
- 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための [電流 SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前にこのステップを実行して下さい。
- [dspadrxlat コマンド](#) を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
- すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#) を発行して下さい。ダウングレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。ダウングレードの前に行数、ポートおよびチャンネルを検査して下さい。設定がきちんと復元するかどうか確かめるために同じ 設定 パラメータを後ダウングレード検査しました。
- TFTP を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に要求ブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#) を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#) を発行して下さい。
- TFTP を ASC に望ましい ASC ファームウェアをダウンロードするために行うように置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW` コマンドを発行して下さい。

8. ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックして下さい。
9. 正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
10. ブートコードファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュメモリの開始アドレスおよび終了アドレスを設定して下さい。0xbfc00000 でフラッシュメモリファイルおよび 0xbfc40000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr](#) コマンドを発行して下さい。  
`shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc00000`  
`shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfc40000` TFTP を行うために置かれた  
<SM\_BT\_file> [AXIS\\_SM\\_1\\_slot#.BOOT](#) コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって `slot#` を取り替えて下さい。このステップは SM のための要求ブートコードをダウンロードします。フラッシュチェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュメモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
11. ファームウェアファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュメモリの開始アドレスおよび終了アドレスを設定して下さい。0xbfc40000 でファームウェアファイルおよび 0xbfd00000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr](#) コマンドを発行して下さい。  
`shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc40000`  
`shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfd00000` TFTP を行うために置かれた  
<SM\_FW\_file> [AXIS\\_SM\\_1\\_slot#.FW](#) コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって `slot#` を取り替えて下さい。このステップは SM に望ましいファームウェアをダウンロードします。フラッシュチェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。
12. シェルフのすべてのカードをリセットする [crrallcnf コマンド](#)を発行して下さい。
13. バッテリーバックアップ RAM ( BRAM ) 修正を設定して下さい。
14. ASC および SM コンフィギュレーションを復元する。
15. 接続の数が正しいことを確認する [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
16. すべての SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。このステップはダウングレードの後で行数、ポートおよびチャネルを検査します。設定が変わらなかったかどうか確かめるためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。

## [プロシージャ 3: 2.y へのバージョン 2.x の 2 ASC カード セットのためのさまざまなアップグレード; 2.x への 3.y; 3.x から 3.y へ](#)

注: バージョン 2.x を実行する MGX 8220 シェルフは 3.x に段階的にアップグレードすることができません。アップグレードプロセスはシェルフに 2 ASC カード セットとの冗長性があっても見苦しいです。無様にこれらのリリースをアップグレードするためにこれらのステップを完了して下さい:

このプロシージャはファームウェアのバージョンに適用されます:

- 2.x への 2.y
- 2.x への 3.x
- 3.x から 3.y へ

1. [現在の ASC 構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
2. 各々のプライマリおよびスタンバイ SM のための [電流 SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に SM のためのこのステップを実行して下さい。

3. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
4. すべてのプライマリおよびスタンバイ SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの間にシエルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの前に行数、ポートおよびチャンネルを検査して下さい。設定が保たれたかどうか確かめるために同じ設定パラメータを後アップグレード検査しました。
5. TFTP を行うために置かれた [<ASC\\_BT\\_file> AXIS\\_ASC\\_BACKUP.FW](#) コマンドを発行して下さい。このステップは ASC のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュチェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュメモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。他の ASC に切り替える [switchcc コマンド](#)を発行して下さい。TFTP を第 2 ASC に新しいブートコードをダウンロードするために行うように置かれた [<ASC\\_BT\\_file> AXIS\\_ASC\\_BACKUP.FW](#) コマンドを発行して下さい。フラッシュチェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュメモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた [<ASC\\_FW\\_file> AXIS\\_ASC\\_ACTIVE.FW](#) コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブASC のための新しいファームウェアをダウンロードします。
7. ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。
8. 正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
9. TFTP を行うために置かれた [<ASC\\_FW\\_file> AXIS\\_ASC\\_STANDBY.FW](#) コマンドを発行して下さい。このステップはスタンバイASC のための新しいファームウェアをダウンロードします。
10. ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。
11. 正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
12. ブートコードファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュメモリの開始アドレスおよび終了アドレスを設定して下さい。0xbfc00000 でフラッシュメモリファイルおよび 0xbfc40000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr コマンド](#)を発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc00000
```

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfc40000
```

TFTP を行うために置かれた [<SM\\_BT\\_file> AXIS\\_SM\\_1\\_slot#.BOOT](#) コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって *slot#* を取り替えて下さい。このステップは SM のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュチェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュメモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
13. ファームウェアファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュメモリの開始アドレスおよび終了アドレスを設定して下さい。0xbfd00000 でフラッシュメモリファイルおよび 0xbfd00000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr コマンド](#)を発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfd00000
```

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfd00000
```

TFTP を行うために置かれた [<SM\\_FW\\_file> AXIS\\_SM\\_1\\_slot#.FW](#) コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって *slot#* を取り替えて下さい。このステップは SM に望ましいファームウェアをダウンロードします。フラッシュチェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。

14. シェルフのすべてのカードをリセットする [resetsys コマンド](#)を発行して下さい。
15. 接続の数が正しいことを確認する [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
16. すべてのプライマリおよびスタンバイオン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったことを確立するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
17. ASC および SM コンフィギュレーションを必要ならば復元する。

## プロシージャ 4: 2.x にバージョン 2.y の 2 ASCカード セットのためにダウングレード; 3.y への 2.x; 3.y から 3.xへ

このプロシージャはファームウェアのバージョンに適用されます:

- 2.y への 2.x
- 3.y への 2.x
- 3.y から 3.xへ

1. [互換性をチェックして下さい](#)。
2. [現在の ASC構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
3. 各々のプライマリおよびスタンバイオン SM のための [電流 SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
4. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、*ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。これは接続の数を示します。接続の数に変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを発行して下さい。
5. すべてのプライマリおよびスタンバイオン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。ダウングレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。ダウングレードの前に行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか確かめるために同じ設定パラメータを後ダウングレード検査しました。
6. TFTP を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に新しい ASC bootcode をダウンロードします。フラッシュチェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュメモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。他の ASC に切り替える `switchcc` コマンドを発行して下さい。TFTP を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。フラッシュチェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュメモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
7. TFTP を行うために置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW` コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブASC のための望ましいファームウェアをダウンロードします。
8. ダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックし、ファームウェアが ASCディスクに正常にダウンロードされたかどうか確認して下さい。
9. 正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
10. TFTP を行うために置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_STANDBY.FW` コマンドを発行して下さい。このステップはスタンバイASC のための望ましいファームウェアをダウンロードします。
11. ファームウェアが ASCディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。

12. 正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
13. ブートコードファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc00000 でフラッシュメモリ ファイルおよび 0xbfc40000 で端を開始する [FlashStartAddr および FlashEndAddr コマンド](#)を発行して下さい。  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc00000  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfc40000 TFTP を行うために置かれた  
<SM\_BT\_file> AXIS\_SM\_1\_slot#.BOOT コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって slot# を取り替えて下さい。このステップは SM のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
14. ファームウェアファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc40000 でフラッシュメモリ ファイルおよび 0xbfd00000 で端を開始する [FlashStartAddr および FlashEndAddr コマンド](#)を発行して下さい。  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc40000  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfd00000 TFTP を行うために置かれた  
<SM\_FW\_file> AXIS\_SM\_1\_slot#.FW コマンドを発行して下さい。SM スロット 番号によって slot# を取り替えて下さい。このステップは SM に望ましいファームウェアをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。
15. [clralcnf コマンド](#)を発行して下さい。このコマンドはシェルフのすべてのカードをリセットします。
16. BRAM 修正を設定して下さい。
17. ASC および SM コンフィギュレーションを復元する。
18. 接続の数が正しいことを確認する [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
19. すべての SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。ダウングレードの後で行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか確かめるためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。

## [プロシージャ 5: 4.y へのバージョン 2.x の 1 つの ASC カード セットのためのぶざまなアップグレード; 3.x から 4.y へ](#)

このプロシージャはファームウェアのバージョンに適用されます:

- 2.x への 4.y
- 3.x から 4.y へ

1. [現在の ASC 構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
2. 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための [電流 SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
3. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す ConnNumOfValidEntries パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
4. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの前に行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか確かめるために同じ 設定 パラメータを後アップグレード検査しました。

5. TFTP を行うために置かれた <ASC\_BT\_file> AXIS\_ASC\_BACKUP.FW コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に新しい ASC bootcode をダウンロードします。フラッシュチェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた <ASC\_FW\_file> AXIS\_ASC\_ACTIVE.FW コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブASC のための新しいファームウェアをダウンロードします。
7. ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。
8. 正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
9. ブートコードファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc00000 でフラッシュメモリ ファイルおよび 0xbfc80000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr](#) コマンドを発行して下さい。  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc00000  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfc80000
- TFTP を行うために置かれた <SM\_BT\_file> AXIS\_SM\_1\_slot#.BOOT コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって slot# を取り替えて下さい。このステップは SM のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
10. すべての SM のためのファームウェアをダウンロードして下さい。TFTP を行うために置かれた <SM\_FW\_file> AXIS\_SM\_1\_slot#.FW コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって slot# を取り替えて下さい。このステップは SM に望ましいファームウェアをダウンロードします。ダウンロードされた ファームウェアのファイルサイズをチェックし、ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうか確認して下さい。ファームウェアリビジョンを表示する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
11. [resetsys コマンド](#)を発行して下さい。
12. 接続の数が正しいことを確認する [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
13. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャンネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判断するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
14. ASC および SM コンフィギュレーションを必要ならば復元する。

## プロシージャ 6: 2.x にバージョン 4.y の 1 つの ASC カード セットのためにダウングレード; 4.y から 3.x へ

このプロシージャはファームウェアのバージョンに適用されます:

- 4.y への 2.x
- 4.y から 3.x へ

1. [互換性をチェックして下さい](#)。
2. [現在の ASC 構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
3. 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための [電流 SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
4. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す ConnNumOfValidEntries パラメータの値に

注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを再度発行して下さい。

5. すべてのプライマリおよびスタンダアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。ダウングレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に望ましい ASC bootcode をダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
7. TFTP を行うために置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW` コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブASC のための望ましいファームウェアをダウンロードします。
8. ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。
9. 正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
10. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた `<SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT` コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって `slot#` を取り替えて下さい。このステップは SM のための要求ブートコードをダウンロードします。
11. フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。
12. フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
13. ファームウェアファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc40000 でフラッシュメモリ ファイル および 0xbf000000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr コマンド](#)を発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc40000  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbf000000
```

TFTP を行うために置かれた `<SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW` コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって `slot#` を取り替えて下さい。このステップは SM に望ましいファームウェアをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。
14. [clrallcnf コマンド](#)を発行して下さい。このコマンドはシェルフのすべてのカードをリセットします。
15. ASC および SM コンフィギュレーションを復元する。
16. 接続の数が正しいことを確認する [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
17. すべての SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。

## [プロシージャ 7: 2.x にバージョン 4.y の 2 ASCカード セットのためにダウングレード; 4.y から 3.xへ](#)

このプロシージャはファームウェアのバージョンに適用されます:

- 4.y への 2.x

• 4.y から 3.xへ

1. [互換性をチェックして下さい。](#)
2. [現在の ASC構成を保存して下さい。](#) ファームウェアをダウングレード前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
3. 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための [電流 SM 設定を保存して下さい。](#) ファームウェアをダウングレード前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
4. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す `ConnNumOfValidEntries` パラメータの値に注意して下さい。接続の数に変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
5. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。ダウングレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に望ましい ASC bootcode をダウンロードします。フラッシュチェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
7. TFTP を行うために置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW` コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブASC のための望ましいファームウェアをダウンロードします。
8. ファームウェアが ASCディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。
9. 正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
10. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた `<SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT` コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって `slot#` を取り替えて下さい。このステップは SM のための要求ブートコードをダウンロードします。
11. フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。
12. フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
13. ファームウェアファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc40000 でフラッシュメモリ ファイル および 0xbfd00000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr コマンド](#)を発行して下さい。  
`shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc40000`  
`shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = xbfd00000`TFTP を行うために置かれた `<SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW` コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって `slot#` を取り替えて下さい。このステップは SM に望ましいファームウェアをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。
14. [clralicnf コマンド](#)を発行して下さい。このコマンドはシェルフのすべてのカードをリセットします。
15. ASC および SM コンフィギュレーションを復元する。
16. 接続の数が正しいことを確認する [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
17. すべての SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するために

ダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。

## プロシージャ 8: 4.y へのバージョン 4.x の 1 つの ASC カード セットのためのさまざまなアップグレード; 4.x への 5.y; 5.x から 5.y へ

このプロシージャはファームウェアのバージョンに適用されます:

- 4.x への 4.y
- 4.x への 5.x
- 5.x から 5.y へ

1. [現在の ASC 構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
2. 各々のプライマリおよびスタンダアロン SM のための [電流 SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
3. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
4. すべてのプライマリおよびスタンダアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。ダウングレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判断するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
5. TFTP を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に新しい ASC bootcode をダウンロードします。フラッシュチェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュメモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW` コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブASCのための新しいファームウェアをダウンロードします。
7. ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。
8. 正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
9. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた `<SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT` コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって *slot#* を取り替えて下さい。このステップは SM のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュチェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュメモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
10. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた `<SM_FW_file> AXIS_SM_1_0.FW` コマンドを発行して下さい。第 0 はすべての関連した SM スロットを表します。このステップは SM のための新しいファームウェアをダウンロードします。[スロット別ファームウェアダウンロードのために TFTP を使用して下さい](#)。TFTP を行うために置かれた `<SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW` コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。ファームウェアリビジョンを表示する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
11. [resetsys コマンド](#)を発行して下さい。このコマンドはシェルフのすべてのカードをリセット

トします。

12. 接続の数がプロシージャの間に変更されなかったようにする [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
13. すべての SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
14. ASC および SM コンフィギュレーションを必要ならば復元する。

## プロシージャ 9: 4.x にバージョン 4.y の 1 つの ASCカード セットのためにダウングレード; 5.x への 4.x; 5.y から 5.xへ

このプロシージャはファームウェアのバージョンに適用されます:

- 4.y への 4.x
- 5.x への 4.x
- 5.y から 5.xへ

1. [互換性をチェックして下さい](#)。
2. [現在の ASC構成を保存して下さい](#)。
3. 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための [電流 SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
4. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す `ConnNumOfValidEntries` パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
5. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。ダウングレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に望ましい ASC bootcode をダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
7. TFTP を行うために置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW` コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブASC のための望ましいファームウェアをダウンロードします。ダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックし、ファームウェアが ASCディスクに正常にダウンロードされたかどうか確認して下さい。正しいの確認する [dspfwrevs コマンド](#)をファームウェアリビジョン発行して下さい。
8. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた `<SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT` コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって `slot#` を取り替えて下さい。このステップは SM のための要求ブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
9. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた `<SM_FW_file> AXIS_SM_1_0.FW` コマンドを発行して下さい第 0 はすべての関連した SM スロットを表します。このステップは SM のための望ましいファームウェアをダウンロードします。 [スロット別ファームウェア](#) ダウンロードのために TFTP を使用して下さい。TFTP を行うために置かれた

<SM\_FW\_file> AXIS\_SM\_1\_slot#.FW コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされた ファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。ファームウェアリビジョンを表示する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。

10. [clralcnf コマンド](#)を発行して下さい。このコマンドはシェルフのすべてのカードをリセットします。
11. ASC および SM コンフィギュレーションを復元する。
12. 接続の数が正しいことを確認する [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
13. すべてのプライマリおよびスタンダアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャンネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。

## プロシージャ 10: 2.y へのバージョン 2.x の 2 ASCカード セットのための適切なアップグレード; 3.x から3.y へ

このプロシージャはファームウェアのバージョンに適用されます:

- 2.x への 2.y
- 3.x から3.y へ

1. [現在の ASC構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
2. 各々のプライマリおよびスタンダアロン SM のための [電流 SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
3. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにこのコマンドを再度発行して下さい。
4. すべてのプライマリおよびスタンダアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャンネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
5. TFTP を行うために置かれた <ASC\_BT\_file> AXIS\_ASC\_BACKUP.FW コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。他の ASC に切り替える [switchcc コマンド](#)を発行して下さい。TFTP を第 2 ASC に新しいブートコードをダウンロードするために行うように置かれた <ASC\_BT\_file> AXIS\_ASC\_BACKUP.FW コマンドを発行して下さい。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。 [donotupdatestandby コマンド](#)を発行して下さい。TFTP を行うために置かれた <ASC\_FW\_file> AXIS\_ASC\_STANDBY.FW コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされた ファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
6. ブートコードファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc00000 でフラッシュメモリ ファイルおよび 0xbfc40000 で端を開始する [FlashStartAddr および FlashEndAddr コマンド](#)を発行して

下さい。shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>FlashStartAddr = 0xbfc00000

shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>FlashEndAddr = 0xbfc40000 すべての SM のための TFTP を行うために置かれた <SM\_BT\_file> AXIS\_SM\_1\_slot#.BOOT コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって slot# を取り替えて下さい。このステップは SM のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#) を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#) を発行して下さい。

7. ファームウェアファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい:0xbfc40000 でフラッシュメモリ ファイルおよび 0xbfd00000 で端を開始する [FlashStartAddr および FlashEndAddr コマンド](#) を発行して下さい。shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc40000

shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfd00000 TFTP を行うために置かれた

<SM\_FW\_file> AXIS\_SM\_1\_slot#.FW コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって slot# を取り替えて下さい。このステップは SM に望ましいファームウェアをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#) を発行して下さい。ファームウェアリビジョンを表示する [dspfwrevs コマンド](#) を発行して下さい。

8. [resetcd <standby\\_ASC>](#) コマンドを発行して下さい。このコマンドはスタンバイカードをリセットします。
9. スタンバイASC が再度アップした後 [resetcd <active\\_ASC>](#) コマンドを発行して下さい。このコマンドはアクティブ カードをリセットし、スタンバイASC は最小のサービス影響とアクティブになります。
10. すべてのスタンドアロン SM のための [resetcd <stand-alone>](#) コマンドを発行して下さい。このコマンドはスタンドアロン カードをリセットします。
11. すべての冗長性グループ ( 3.y へのバージョン 3.x ) のすべてのプライマリ SM に関しては [:resetcd <primary\\_SM>](#) コマンドを発行して下さい。 [resetcd <secondary\\_SM>](#) コマンドを発行して下さい。
12. 接続の番号が正しいことを確認する [dspadrxlat コマンド](#) を発行して下さい。
13. すべての SM のための [dsptotals コマンド](#) を発行して下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判断するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
14. ASC および SM コンフィギュレーションを必要ならば復元する。

## [プロシージャ 11: 4.y へのバージョン 2.x の 2 ASCカード セットのための適切なアップグレード; 3.x から4.y へ](#)

このプロシージャはファームウェアのバージョンに適用されます:

- 2.x への 4.y
- 3.x から4.y へ

1. [現在の ASC構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
2. 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための [電流 SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
3. [dspadrxlat コマンド](#) を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにこのコマンドを再度発行して下さい。

4. すべてのプライマリおよびスタンダアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードプロセスの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャンネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
5. TFTP を行うために置かれた [<ASC\\_BT\\_file> AXIS\\_ASC\\_BACKUP.FW](#) コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。他の ASC に切り替える [switchcc コマンド](#)を発行して下さい。TFTP を第 2 ASC に新しいブートコードをダウンロードするために行うように置かれた [<ASC\\_BT\\_file> AXIS\\_ASC\\_BACKUP.FW](#) コマンドを発行して下さい。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。 [donotupdatestandby コマンド](#)を発行して下さい。TFTP を行うために置かれた [<ASC\\_FW\\_file> AXIS\\_ASC\\_STANDBY.FW](#) コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされた ファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。正しいファームウェア リビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
6. ブートコードファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc00000 でフラッシュメモリ ファイルおよび 0xbfc80000 で端を開始する [FlashStartAddr および FlashEndAddr コマンド](#)を発行して下さい。  
`shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc00000`  
`shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfc80000`すべての SM のための TFTP を行うために置かれた [<SM\\_BT\\_file> AXIS\\_SM\\_1\\_slot#.BOOT](#) を発行して下さい。SM スロットの数によって `slot#` を取り替えて下さい。このステップは SM のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
7. [resetcd <standby\\_ASC>](#) コマンドを発行して下さい。このコマンドはスタンバイカードをリセットします。
8. スタンバイASC が再度アップした後 [resetcd <active\\_ASC>](#) コマンドを発行して下さい。
9. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた [<SM\\_FW\\_file> AXIS\\_SM\\_1\\_0.FW](#) コマンドを発行して下さい。第 0 はすべての関連した SM スロットを表します。このステップは SM のための望ましいファームウェアをダウンロードします。 [スロット別ファームウェア](#) ダウンロードのために TFTP を使用して下さい。TFTP を行うために置かれた [<SM\\_FW\\_file> AXIS\\_SM\\_1\\_slot#.FW](#) コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされた ファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。正しいファームウェア リビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
10. すべてのスタンダアロン SM のための [resetcd <stand-alone>](#) コマンドを発行して下さい。このコマンドはスタンダアロン カードをリセットします。
11. すべての冗長性グループに関しては:[resetcd <secondary\\_SM>](#) コマンドを発行し、セカンダリがアップグレードされるまで待つして下さい。 [softswitch コマンド](#)を発行して下さい。 [ソフトスイッチ <primary\\_SM><secondary\\_SM>](#) コマンドを発行して下さい。
12. 接続の数に変更されなかったようにする [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
13. すべての SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャンネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。

14. ASC および SM コンフィギュレーションを必要ならば復元する。

## プロシージャ 12: 4.y へのバージョン 4.x の 2 ASCカード セットのための適切なアップグレード; 4.x への 5.x; 5.x から5.y へ

このプロシージャはファームウェアのバージョンに適用されます:

- 4.x への 4.y
- 4.x への 5.x
- 5.x から5.y へ

1. [現在の ASC構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
2. 各々のプライマリおよびスタンダアロン SM のための[電流 SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
3. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数に変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにこのコマンドを再度発行して下さい。
4. すべてのプライマリおよびスタンダアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレード プロセスの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判断するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
5. TFTP を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。他の ASC に切り替える [switchcc コマンド](#)を発行して下さい。TFTP を第 2 ASC のための新しいブートコードをダウンロードするために行うように置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` を発行して下さい。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。 [donotupdatestandby コマンド](#)を発行して下さい。TFTP を行うために置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_STANDBY.FW` コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされた ファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
6. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた `<SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT` コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって *slot#* を取り替えて下さい。このステップは SM のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
7. すべての SM に関しては、TFTP を行うために置かれた `<SM_FW_file> AXIS_SM_1_0.FW` コマンドを発行して下さい。第 0 はすべての関連した SM スロットを表します。このステップは SM のための望ましいファームウェアをダウンロードします。 [スロット別ファームウェア](#) ダウンロードのために TFTP を使用して下さい。TFTP を行うために置かれた `<SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW` コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされた ファームウェアのファイ

ルサイズをチェックすれば。正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#) を発行して下さい。

8. `resetcd <standby_ASC>` コマンドを発行して下さい。このコマンドはスタンバイカードをリセットします。
9. スタンバイASC が再度アップした後 `resetcd <active_ASC>` コマンドを発行して下さい。このコマンドはアクティブ カードをリセットし、スタンバイASC は最小のサービス影響とアクティブになります。
10. すべてのスタンドアロン SM のための `resetcd <stand-alone>` コマンドを発行して下さい。このコマンドはスタンドアロン カードをリセットします。
11. すべての冗長性グループに関しては:`resetcd <secondary_SM>` コマンドを発行し、セカンダリがアップグレードされるまで待って下さい。[ソフトスイッチ <primary\\_SM>](#) コマンドを発行して下さい。[ソフトスイッチ <secondary\\_SM>](#) コマンドを発行して下さい。
12. 接続の数に変更されなかったようにする [dspadrxlat コマンド](#) を発行して下さい。
13. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#) を発行して下さい。アップグレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後の行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
14. ASC および SM コンフィギュレーションを必要ならば復元する。

## [プロシージャ 13: 4.x にバージョン 4.y の 2 ASCカード セットのためにダウングレード; 5.x への 4.x; 5.y から 5.xへ](#)

このプロシージャはファームウェアのバージョンに適用されます:

- 4.y への 4.x
- 5.x への 4.x
- 5.y から 5.xへ

1. [互換性をチェックして下さい](#)。
2. [現在の ASC構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
3. 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための[電流 SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
4. [dspadrxlat コマンド](#) を発行し、接続の数を示す `ConnNumOfValidEntries` パラメータの値に注意して下さい。接続の数に変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
5. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#) を発行して下さい。ダウングレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後の行数、ポートおよびチャネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に要求ブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#) を発行して下さい。フラッシュ メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#) を発行して下さい。他の ASC に切り替える `switchcc` コマンドを発行して下さい。TFTP を第 2 ASC のための要求ブートコードをダウンロードするために行うように置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash](#)

[コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュメモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。

7. TFTP を行うために置かれた <ASC\_FW\_file> AXIS\_ASC\_ACTIVE.FW コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブASCのための望ましいファームウェアをダウンロードします。ファームウェアがASCディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。TFTP をスタンバイASCのための望ましいファームウェアをダウンロードするために行うように置かれた <ASC\_FW\_file> AXIS\_ASC\_STANDBY.FW コマンドを発行して下さい。ファームウェアがASCディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
8. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた <SM\_BT\_file> AXIS\_SM\_1\_slot#.BOOT コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって slot# を取り替えて下さい。このステップは SM のための要求ブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュメモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
9. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた <SM\_FW\_file> AXIS\_SM\_1\_0.FW コマンドを発行して下さい。第 0 はすべての関連した SM スロットを表します。このステップは SM のための望ましいファームウェアをダウンロードします。 [スロット別ファームウェア](#) ダウンロードのために TFTP を使用して下さい。TFTP を行うために置かれた <SM\_FW\_file> AXIS\_SM\_1\_slot#.FW コマンドを発行して下さい。ファームウェアがASCディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。正しいファームウェアリビジョンを確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
10. [clralcnf コマンド](#)を発行して下さい。このコマンドはシェルフのすべてのカードをリセットします。
11. ASC および SM コンフィギュレーションを復元する。
12. 接続の数に変更されなかったようにする [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
13. すべての SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの後で行数、ポートおよびチャンネルを検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。

## 関連情報

- [WAN スイッチング製品のための新しい名前とカラーのガイド](#)
- [ダウンロード : WAN スイッチング ソフトウェア \( 登録ユーザ専用 \)](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)